

あさおの町会・自治会 vol.42

麻生区にある125の町会・自治会をご紹介します。



栗木台自治会 会長 石田 博英

当会は小田急多摩線栗平駅を最寄り駅とする「栗木台3丁目の一部、栗木台4丁目・5丁目、栗平2丁目の一部」が対象です。昭和59(1984)年にエリアの北側にある「栗木台み沢公園」手前から売主の小田急電鉄が土地分譲を開始し現在に至っています。また、売主が分譲地の購入者同士のコミュニティ組織として「自治会」を用意し、最初の自治会規約作成まで関わっていたようです。

平成元(1989)年には同社が栗木台3丁目6-1に「栗木台自治会館」を建設し、土地、建物を川崎市市民自治財団に寄付、それを当会が借り受け自治会の活動拠点としています。

なお、当初は小田急線が高架複々線化工事を計画し、対象となる土地を提供して下さった方への代替地として提供を推進しようとしていたようですが、下北沢駅付近で線路を地下に敷設するとの決定により土地提供者が減少し、当該自治会エリアも縮小されました。

当会の発足は昭和60(1985)年4

月で現在の世帯数は461世帯ですが、当初居住者の世代交代が多く見受けられるのと併せ、土地建物の転売による転入者も増加傾向にあります。

●サークル活動
今年発足した卓球を含め9つのサークル活動を実施しています。

●内外のコミュニケーション
民生委員との情報交換を含む月1回の役員会開催と「栗木台自治会だより」の作成配布を行っています。また、わからないことなどは他の町会や自治会を訪れ、情報提供をお願いすることもあります。

●防犯活動
防犯のぼり旗の保守更新を行い、また月2回の防犯安全パトロールを実施しています。

●防災活動
令和3(2021)年11月21日、消防署の応援により自主防災訓練を行いました。また、新しい試みとして「ホームセンターユニディ」に協力を依頼し防災関連

グッズの展示も行いました。92名の参加があり、防災に対する意識向上に繋が



(上から)地震体験車/人工呼吸訓練/消火ホースキット説明

られたと思います。自治会館敷地内にある防災倉庫の見学をしたいという声もあったため、次回はそれも踏まえて実施を検討します。

●文化広報活動
県や市からの広報物は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、戸別配布を中止していますが、「栗木台自治会だより」を月1回月初に作成配布しています。また必要に応じて、掲示対象物は自治会館前の掲示板に掲出を行っています。

●役員会活動
月1回の役員会開催の際には民生委員にも同席してもらい、情報共有を行っています。

当会では役員がほぼ1年で交代してしまう状況にあり、継続的で計画的な活動がしにくい環境となっておりますが、諸先輩達が築き上げてきた自治会活動の基盤を踏襲しつつ、会員の理解も得ながらより良い活動ができるように励んでいきたいと思っています。

小田急分譲地自治会 会長 柳下 庸子

当会が位置する高石6丁目小田急分譲地は新百合ヶ丘駅から徒歩約25分、百合ヶ丘駅から徒歩約20分の距離にあり、昭和40(1965)年に小田急不動産が開発分譲した住宅地で、分譲地として



開発当初からの石垣

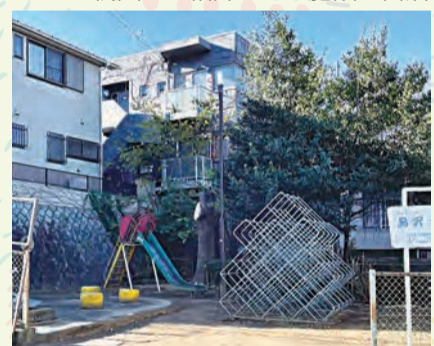
56年の歴史があります。分譲地内の所々には開発当初からの石垣も残っており、歴史の重みを垣間見ることができます。

「高石」という地名は、地形からきた地名であり、この地域の丘陵の連なりの中でも、特に目につく高い峰である「お伊勢の森」や「権現森」を当時の人々は「高し」といって仰ぎ見たことに由来するそうです。そしてこの「タカシ」は後の時代に音韻の変化

により「タカシ」と呼ばれるようになったのではないかと伝えられています。

確かに団地坂上付近は標高が約120mもあり、空気の澄んでいる日には遠く丹沢の山々や富士山を見渡すことができ、また夜にはよみうりランドの観覧車を見ることができます。

自治会内の様子ですが、純粋な住宅地であるがゆえに特筆すべきものはなく、この紙面でご紹介できる施設は自治



烏沢公園

会内唯一の公園である「烏沢公園」しかありません。なぜ、高石町内にある公園が現在地名として存在しない「烏沢」と名付けられたのか調べたところ、高石という町名になるはるか昔は、谷が南に延びて、北から水暮、三谷、猫三谷、烏沢と四つの字があり、猫三谷から烏沢一帯は宝暦14(1764)年の村絵図には「ぬこさね」と記され、『風土記稿』記載の小名「猫の実」にあたる所であり、戦国期に城代として小机城に居住し高石村を開発した笠原氏は、この四つの字から最南端の字である「烏沢」を命名したと伝えられているそうです。

自治会における年間の活動及びイベントは、他の自治会と同様に昨年度から新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、毎年の恒例行事として大いに盛り上がっていた8月の「高石町会盆踊り大会」や9月の「高石ふるさとまつり」は2

年連続で中止、その他も活動を自粛し、毎月1度の「烏沢公園」の清掃ならびに役員会にとどまっています。

当自治会の役員構成は「会長」「副会長」「会計」「防災・防火・防犯」「青少年・婦人」「総務」「環境美化」「交通」と、それぞれ各一人ずつ8人の担当が各自の役割に対し、コロナ禍での活動制限を受けながらも、日々尽力しています。

少子高齢化社会の中、川崎市総務企画局の資料における令和2(2020)年度の高齢化率は、川崎市全体が21.0%に対し、麻生区は24.6%と突出しており、当会においても住民の高齢化は深刻な問題となっております。自治会という枠組みの中でお互いの助け合いの心を念頭に、市や区役所などの関係部署と連携を密にし、高齢化による諸問題解決に全力で取り組んでいきたいと思っています。

川崎市町内会・自治会活動応援補助金 活動実績報告の手続きについて

一事前相談や報告はできる限りお早めに

補助金制度の補助金交付申請をされた町会・自治会につきまして、補助金の支払いを受けるためには、川崎市に活動実績の報告を行い、審査を受け補助額を確定する手続きが必要となります。報告に必要な書類を、区役所地域振興課までご提出をお願いいたします。

【活動実績の報告に必要な提出書類】

- ①活動実績報告書(第9号様式)
- ②活動報告・支出決算書(第10号様式)
- ③領収書の写し等
- ④交付請求書(第14号様式)

*このほか、活動報告や支出決算の内容確認に際し、必要な書類の提出をお願いすることがございます。

【提出期日】

活動終了日の翌日から30日以内。ただ

し、その日が年度をまたぐ場合は年度内(3月31日まで)に提出。

*提出期日は3月31日(木)とさせていただきますが、3月末は大変に混雑が予想され、かなりお待ちいただく可能性がございますので、事前相談や報告につきましては、できる限りお早めをお願いいたします。報告について不明なことがありましたら、ぜひ、ご相談ください。電話、FAX、メールでも対応可能です。来庁の際は事前のご連絡をお願いいたします。

問合せ

区役所地域振興課
☎(965)5113
FAX(965)5201
メール:73tsin@city.kawasaki.jp

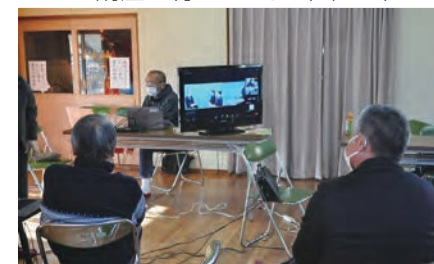
町会活動のデジタル化を推進しています

～KST(金程スマートタウン構想)プロジェクト～

金程町会 会長 伊藤 久史

金程町会では、今年から「KST(金程スマートタウン構想)プロジェクト」を立ち上げ、金程会館にWi-Fiを導入し、LINEグループを使った回覧板も試行するなど、町会活動のデジタル化を進めております。

令和3年12月からはZoomを使った役員会の実施や、老人会の会員向けにZoom講座もっており、令和3年12



オンラインで中学生と交流

月11日(土)には、初めてZoomを使った懇親会を行いました。懇親会ではオンライン上で落語の配信を行い、また、金程中学校の生徒たちの学校紹介の視聴と意見交換を行いました。今回の懇親会を契機に、町内の学校や老人福祉センターともオンラインでつながりを作っていけたらと考えております。

今後はデジタル化をさらに進め、清掃活動や、防災・防犯など、住みやすいまちづくりに取り組んでいきたいです。

